とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年10月29日(水)～11月10日(火)
クラス名(年齢)	もも　　組(　4　歳児)
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

見て触れて感じて考える

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・季節が秋になり、園庭でザクロの実やお茶の実、ハナミズキの実などを拾い集めたりする姿が見られるようになった

2、活動スケジュール

・園庭や散歩に行った公園で、木の実など秋の自然物を拾う
・拾い集めた自然物を使い、製作を楽しむ
・秋の自然物でままごとなどを楽しむ

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

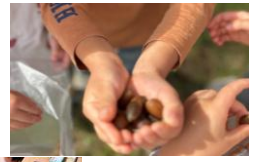
・戸外遊びや散歩に行った先で、秋の自然物に触れる機会を作る
・ボードを用意し、集めた自然物で製作ができるようにする
・ままごとなどで楽しめるように容器などを用意する

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・園庭遊びや散歩先の公園で、どんぐりなどの木の実を拾い集める
・自分で拾い集めた木の実や枝、葉っぱで自由に製作をする
・秋の自然物を使い、ままごとなどで遊ぶ

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・園庭で遊んでいると「先生、こんなの（お茶の実）あったよ」「どこにあったの？」「あそこに落ちてた」「硬いね」「こんな形〈丸）のもあったよ」「形が違うね」 ・散歩先の公園で「どんぐりだ」「（どんぐりの）ぼうしもあったよ」「なんかどんぐりから出てる（根っこ）」 ・色々な実や木の枝を使い、ボードに貼る製作をすることを伝えると、園庭で遊んでいた際に「これも使っていい？」などと木の実だけでなく色づいた葉やハナミズキの実を拾い集める姿があった。 ・製作で使いきれなかった木の実などは「これ使って遊びたい」との声が出たので、戸外でままごとに使えるように出すと、どんぐりスープやどんぐりご飯を作ったり、どんぐりの皮をむいて遊ぶ姿があった。	 

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・秋の自然物に興味を持ち、拾い集めたり、色々な種類の実を見比べたり、手触りを感じたりする姿があった。製作に使うことを伝えると、より関心が高まり、きれいな葉を見つけ集めたりする姿があった。ただ拾い集めるだけでなく、それを使って製作やままごとで楽しめるようにすると、もっと自然に目を向けるようになったり、目で見て、手で触れて、感じて、考えて遊べるようになると思った。